

荒牧 正 議員



指定管理者制度の指定の公募について

Q 平成21年3月末日に於いて指定管理者が変更になるが、公募をされるのか、それとも公募によらない指定管理者を選定されるのか。また、毎年7千万円程度の委託料が指定管理者へ支払われている。本年度は、全体予算の10%減で予算編成がなされていると思うが、これ等の施設への委託料も10%減額されているのか？

A **村長** 平成18年6月議会に於いて、次回の選定

については公募で進めることで説明をしている。これを受けて、選定作業については、現在指定を行っている、阿蘇白水郷美術館を

除く施設の管理者である「株式会社はくすい」・「有限会社くぎのむら」・「有限会社ちようようむら」に対して事前説明を行っているところである。

その際、3社からは、合わせて200人前後の社員の雇用継続に対する不安が大きいということ、そもそも多くの施設が、村民の健康増進、高齢者福祉、特産品づくりによる農業振興、観光振興といった当初の目的からして公益性が高いものであるというご意見など、その反応・反響が非常に大きい。

村としては、3社からの意見等を踏まえ、再度検討した結果、指定管理者制度そのものを導入してきた目的からみれば公募によらない選定方法は必ずしも適切ではないというご指摘があることは承知している。

しかし、各社からの意見、またその果たしてきた役割などに鑑みると公募になじみにくい側面が強くある。更に、村民雇用の確保から再委託されたいという答申（行政改革推進委員会）も頂いており、今回の選定については公募によらない方法で進めるとの結論をだしたところである。

A **課長** **商工観光** 現在、管理委託費年間7千万円

程度を委託料として支払っている。これは、負担金と異なり各施設の管理状況などを見て、年度協定を定め、その範囲の中で対応している。

Q ゆるっと南阿蘇めぐり2008の運行結果と、今後、路線バス及び村内循環バスをどう考えているのか

A **課長** **企画** 村内各地で様々な秋のイベントが開催されている中、村が取り組む路線バス実証走行とグリーンツーリズム



ゆるっとバスの運行行程表



立野駅からの利用状況

の展開を組み合わせることで初めて取り組んだ。これだけでも216人に参加いただいた。また、アンケート調査によると、来年度以降も継続して実施していただきたいとの結果を頂いている。

今後には、体制作りを更に充実させ、村の大きなイベントとして県内外に情報を発信できるような体制づくりを進めてゆきたい。